

QNet

外国人とともに生きる大田・市民ネットワーク 会報

つうしん
通信
NEWSLETTER

No.119
2019-2.3



11月25日日本語でスピーチの様子

中国と日本の子育ての違いについて

発表者 チョウ ミン

みなさん、こんにちは。私はチョウ ミンです。去年の8月に北京からきました。今、大田区大森に住んでいます。日本にきて、2か月たってから日本語の勉強をはじめました。日本は綺麗な国で、私は好きです。

きょうは子育てをしてる中で感じた日本と中国の違いをはなしたいとおもいます。子供は二人います。上の子は、今年の4月から小学校に通っています。下の子は4さいで保育園に通っています。日本には幼稚園と保育園があります。中国は幼稚園だけです。日本の子供は、0歳から保育園に行くことができます。中国は3歳から幼稚園に行くことができます。中国では、ほとんどのおかあさんが仕事をしているので、3歳までは家でお爺さん、おばあさん、あるいは家政婦が世話をしています。

日本の幼稚園や保育園は小さく、ひとつクラス12にんくらいです。中国の幼稚園は大きく、ひとつクラス25にんくらいです。日本の学校は始まり

が4月1日の桜が咲く季節で、中国の始まりは9月1日の秋の季節です。日本の小学一年生は、毎日一人で歩いて登下校します。中国の小学一年生は、父親か母親が送り迎えします。日本は、学生の自立を育成することを重視します。中国は、更に子供の学習成績を重視します。

話はかわりますが、日本では子供の診察が便利です。子供達が病気になった時は、小児科の診療所に行きます。中国では、直接大きな病院に行くので長い行列を待ちます。今まで、4時間くらい待った時もあります。また、いまの日本の小児科は子供にシールや飴くれるので、子供達は診察を受けるのが好きです。しかも、日本の薬は苦くないです。

中国は私の祖国で、日本は私の生活の場所で、両方大好きな国です。これからも、子育てをしながら日本をたくさん知りたいとおもいます。ありがとうございました。

第24回日本語でスピーチコンテストで、サクラさんが、銀賞！

下郷 晃

2018年11月25日(日)の午後「第24回日本語でスピーチ」コンテストが大田区役所の会議室で開かれました。発表者は全部で10人です。OCネットからは山王教室の張敏さん(中国)と子ども日本語教室のバタライ・サクラさん(ネパール)の2人が参加しました。審査員による審査の結果、サクラさん(小学5年生)さんが、銀賞を取りました。

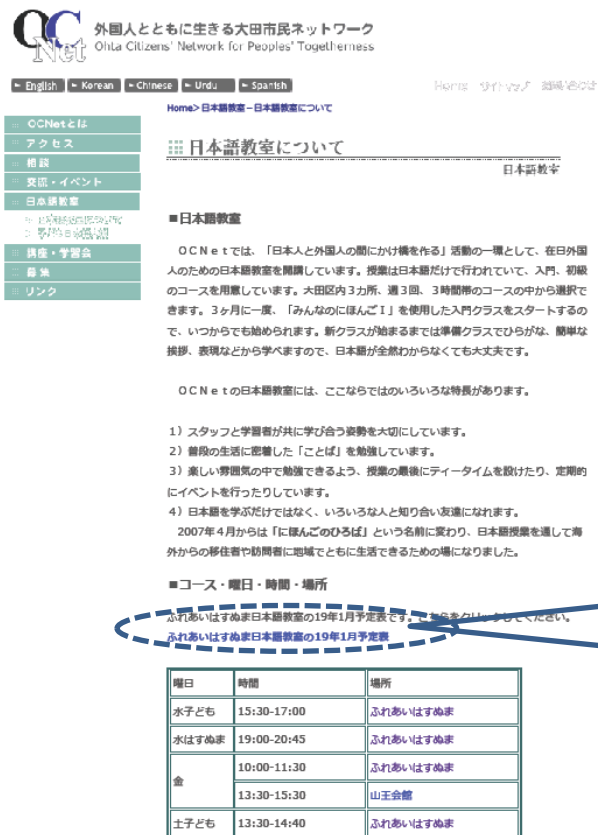
昨年も子ども日本語教室の丁夢婷さん(中国)が、銀賞を取りましたので、2年連続の快挙でした。サクラさん、おめでとうございます。

サクラさんは、「日本とネパールの小学校の違い」をテーマにメモを見ないで流暢にスピーチをし、会場にいる参加者からは、驚きの声があがっていました。金賞をとる積もりで準備したサクラさんは、ちょっと悔しそうでした。

※バタライ・サクラさんのスピーチは次号に掲載予定です。

事務局からのお知らせ

OCNet 公式HPの日本語教室ページに教室割日程表を提示しました。



こちらをクリックすると教室割日程表が表示されます。

◆OCNet スタッフの皆様へ

2019年度総会の日程が決定しましたらメールでお知らせします。

昨年度中に事務局からのお知らせメールが1度も届いていないスタッフは、アドレスを間違えて登録している可能性がありますので、事務局充てにメールを送ってください。

また、メールアドレスが未登録や変更した時は、事務局までご連絡ください。

5月に総会の出欠案内を郵送しますので、住所変更した場合もお知らせください。

正会員年会費：6,000円 賛助会員会費：1口/3,000円

振込先口座 三菱UFJ銀行 蒲田支店 普通 0038048 イッパソヤダソウジソ オツネット

ゆうちょ銀行 10180-67086921 ヲツネット

活動報告

■第11回蓮沼ふれあい祭り

11月17日(土)

ふれあい蓮沼まつりは“ふれあいはずぬま”を利用している団体と地元町会が協力して年1回開催しているイベントです。OCNetは恒例となった水ぎょうざと中国茶110食を提供しました。

(天明 尚子)

■中国帰国者センターまつり

11月18日(日)

孤児の証言をした山下鈴子さんはこの準備に4か月前から取組みました。当日、日本語を暗記して参加者の顔を見つめて過酷な人生を淡々と話してくれました。その中で印象に残ったことは、①帰国後、日本への適応の困難な上にご主人の長い介護に関わった事やその対策に奔走しながら②具体的な対策に辿り着くまでに言葉の問題もあり長い年月がかかったことでした。

第1部 ①映画「遼太郎のひまわり～日中友好の明日～」

②帰国者の声 中国残留孤児 山下鈴子さん

第2部 中国帰国者交流の集い。

(鈴木 洋子)

■忘年会

12月9日(日)

山王会館にて忘年会を行いました。参加者は40名、水曜・金曜・山王・子ども・中国帰国者の各教室から学習者が参加してくれました。各国の手料理やデザートを食べたり、いろいろなゲームをしたり、にぎやかで楽しい会になりました。

(天明 尚子)

■イルミネーション鑑賞会

12月20日(木)

スタッフ6名、学習者6名で羽田空港のイルミネーションを見に行きました。帰りには京急蒲田で中華料理を食べながら交流を深めました。

(天明 尚子)

■中国帰国者と新年を祝う会

1月26日(土)

少し早めの「春節」を50名弱の帰国者と11名のスタッフで祝いました。夕陽紅に新しいメンバーが入会して、楽しい蒲田行進曲などの踊りを楽しんだり、ビンゴ大会をしていろいろな大きさの賞品があり楽しいひと時を過ごしました。

(鈴木 洋子)

◆今後の予定

3月下旬(予定) お花見

5月下旬 OCN e t 社員総会

6月1日～2日 移住連全国フォーラム 「子ども・若者」分科会に参加

発行・発行／一般社団法人 OCN e t

URL: <http://www.ocnet.jp>

住所: 〒144-0051 東京都大田区西蒲田 6-36-14 TTK マンション 1F

Address: 1F, 6-36-14 Nishikamata, Ota-ku, Tokyo, 144-0051

TEL&FAX: 03-3730-0556 E-mail: jimukyoku@ocnet.jp